

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 SANKYO

コード番号 6417 URL <http://www.sankyo-fever.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤井 明彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員管理本部長 (氏名) 石原 明彦

TEL 03-5778-7777(代)

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日

平成23年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	71,535	△39.6	11,841	△64.9	13,928	△61.5	6,754	△70.0
23年3月期第2四半期	118,502	△16.7	33,691	△13.6	36,217	△11.9	22,547	△8.8

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 6,560百万円 (△70.4%) 23年3月期第2四半期 22,167百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	72.20	—
23年3月期第2四半期	235.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	452,647	415,444	91.8
23年3月期	488,636	419,658	85.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 415,444百万円 23年3月期 419,658百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	75.00	—	75.00	150.00
24年3月期	—	75.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	182,000	△9.7	40,000	△23.0	43,000	△23.1	26,000	△25.1	278.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	97,597,500 株	23年3月期	97,597,500 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	4,151,755 株	23年3月期	3,248,685 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	93,553,731 株	23年3月期2Q	95,940,653 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により厳しい状況にあるものの、サプライ・チェーンの立て直しが進むなど一部では回復の兆しも見られました。しかしながら欧州における金融不安に加え円高の長期化や株安の進行などの要因により、景気の先行きにつきましては依然として不透明な状況が続いております。

当パチンコ・パチスロ業界におきましては、震災直後にパーラーでの集客が大きく落ち込んだものの、遠方へのレジャーが控えられた状況下において身近な娯楽としてのパチンコ・パチスロの集客はいち早く震災前の水準へ回復しました。またパーラーにおける夏場の消費電力削減への取り組みが収益の低下につながるものが懸念されましたが、製造業を中心に国内各企業が節電への取り組みとして休日の長期化や分散を実施したことなどが、パーラーの集客増に寄与する動きもみられました。遊技機メーカーによる供給体制におきましても、部材不足などの問題は順調に回復に向かっており、市場全体の遊技機出荷台数は今年末に向けて本格的に回復していくことが予想されます。

当社グループにおきましては、前連結会計年度より「ファン目線での商品開発」を軸として人気が長期間持続する遊技機の提供に努めており、当連結会計年度につきましても中長期的なファンからの信頼獲得を重視する戦略を継続して推し進めております。また、WEB・モバイルを活用した遊技機連動による付加価値創造の仕組みを本格導入することを計画しており、更なるエンターテインメント性を追求することで徹底的にファンの囲い込みを図ってまいります。

当第2四半期連結累計期間におきましては、当社グループの遊技機に対するファン・パーラー双方からの評価が向上していること、また従来から取り組んでいる部材共通化などにより震災後の部材調達に大きな支障が発生しなかったことなどから、パチンコ機の販売が好調に推移し、平成23年8月4日に公表した業績予想修正の見込みどおりの着地となりました。

この結果、売上高715億円（前年同四半期比39.6%減）、営業利益118億円（同64.9%減）、経常利益139億円（同61.5%減）、四半期純利益67億円（同70.0%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(パチンコ機関連事業)

パチンコ機関連事業につきましては、SANKYOブランドで4シリーズ、B i s t yブランドで1シリーズの販売を行いました。SANKYOブランドでは、パチンコ連動型モバイルサイト開設によりリピートプレー率の向上とアニメファンへの訴求を図った「フィーバーマクロスフロンティア」（平成23年5月）を中心に販売いたしました。B i s t yブランドでは「CR a y u m i h a m a s a k i 浜崎あゆみ物語 -序章-」（平成23年7月）を販売し、日本を代表するアーティストをキャラクターとして採用したことでパチンコ業界内外から高い注目を集め、多くの方々にパチンコをプレーするきっかけを創造し、パチンコの新たな可能性を見出しました。

この結果、売上高499億円（前年同四半期比52.5%減）、営業利益116億円（同66.5%減）、販売台数143千台となりました。

(パチスロ機関連事業)

パチスロ機関連事業につきましては、SANKYOブランドで当社オリジナルキャラクターを採用した「夢夢ワールドDXⅡ」（平成23年9月）、B i s t yブランドでは「SAMURAI 7」（平成23年5月）を販売いたしました。また、前連結会計年度末に投入した「モバスロ エヴァンゲリオン～真実の翼～」(平成23年3月)の一部が当連結会計年度への売上計上となっております。

この結果、売上高108億円（前年同四半期比158.7%増）、営業利益15億円（同2,322.9%増）、販売台数43千台となりました。

（補給機器関連事業）

補給機器関連事業につきましては、売上高99億円（前年同四半期比18.5%増）、営業利益3億円（同50.9%減）となりました。

（その他）

その他につきましては、売上高7億円（前年同四半期比7.3%減）、営業利益2億円（同3.1%減）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は4,526億円であり、前連結会計年度末と比べ359億円減少しました。これは主に投資有価証券が64億円増加となりましたが、受取手形及び売掛金が181億円、現金及び預金が132億円、有償支給未収入金（流動資産「その他」に含む）が90億円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は372億円であり、前連結会計年度末と比べ317億円減少しております。これは主に支払手形及び買掛金が178億円、未払法人税等が95億円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べ42億円減少しました。これは四半期純利益を67億円計上した一方、主に配当金の支払い70億円、自己株式の取得37億円によるものであります。この結果、純資産は4,154億円となり、自己資本比率は5.9ポイント増加し、91.8%となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年8月4日付「平成24年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	168,230	154,990
受取手形及び売掛金	51,685	33,546
有価証券	112,999	109,005
商品及び製品	1,140	420
仕掛品	313	1,114
原材料及び貯蔵品	1,046	2,223
その他	19,168	10,757
貸倒引当金	△361	△361
流動資産合計	354,220	311,697
固定資産		
有形固定資産	48,225	47,612
無形固定資産	329	387
投資その他の資産		
投資有価証券	81,019	87,442
その他	5,387	6,053
貸倒引当金	△166	△166
投資損失引当金	△379	△379
投資その他の資産合計	85,860	92,949
固定資産合計	134,415	140,950
資産合計	488,636	452,647
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,168	21,289
未払法人税等	12,748	3,177
賞与引当金	851	1,026
その他	10,595	5,930
流動負債合計	63,364	31,423
固定負債		
役員退職慰労引当金	653	678
退職給付引当金	3,209	3,358
資産除去債務	59	57
その他	1,690	1,684
固定負債合計	5,612	5,779
負債合計	68,977	37,203

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,880	23,880
利益剰余金	397,867	397,531
自己株式	△17,337	△21,021
株主資本合計	419,250	415,230
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	408	214
その他の包括利益累計額合計	408	214
純資産合計	419,658	415,444
負債純資産合計	488,636	452,647

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	118,502	71,535
売上原価	56,305	38,934
売上総利益	62,197	32,600
販売費及び一般管理費	28,505	20,759
営業利益	33,691	11,841
営業外収益		
受取利息	697	528
受取配当金	131	63
持分法による投資利益	1,414	1,342
その他	292	164
営業外収益合計	2,535	2,099
営業外費用		
支払利息	—	0
その他	10	11
営業外費用合計	10	11
経常利益	36,217	13,928
特別利益		
貸倒引当金戻入額	29	—
ゴルフ会員権売却益	—	8
特別利益合計	29	8
特別損失		
固定資産廃棄損	8	3
投資有価証券売却損	—	755
ゴルフ会員権売却損	—	6
持分変動損失	—	1,602
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	48	—
特別損失合計	56	2,368
税金等調整前四半期純利益	36,189	11,568
法人税、住民税及び事業税	14,527	4,908
法人税等調整額	△885	△94
法人税等合計	13,641	4,813
少数株主損益調整前四半期純利益	22,547	6,754
四半期純利益	22,547	6,754

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	22,547	6,754
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△415	△210
持分法適用会社に対する持分相当額	35	16
その他の包括利益合計	△380	△193
四半期包括利益	22,167	6,560
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,167	6,560
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	36,189	11,568
減価償却費	2,118	1,400
引当金の増減額 (△は減少)	246	347
受取利息及び受取配当金	△828	△591
支払利息	—	0
持分法による投資損益 (△は益)	△1,414	△1,342
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	755
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	—	△1
持分変動損益 (△は益)	—	1,602
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,180	18,139
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△595	△1,282
仕入債務の増減額 (△は減少)	15,987	△17,878
その他	236	1,468
小計	46,759	14,186
利息及び配当金の受取額	929	810
利息の支払額	—	△0
法人税等の支払額	△6,631	△12,545
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,057	2,450
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,179	△930
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	0
投資有価証券の取得による支出	△20,562	△24,408
投資有価証券の売却による収入	—	444
投資有価証券の償還による収入	20,000	20,000
貸付金の回収による収入	1	2
その他	2	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,737	△4,864
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△26	△14
自己株式の取得による支出	△4,172	△3,720
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△7,234	△7,090
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,432	△10,824
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	27,887	△13,239
現金及び現金同等物の期首残高	218,416	243,230
現金及び現金同等物の四半期末残高	246,303	229,990

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	105,055	4,203	8,381	117,641	861	118,502	—	118,502
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	105,055	4,203	8,381	117,641	861	118,502	—	118,502
セグメント利益	34,713	64	776	35,553	278	35,831	△2,140	33,691

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パチンコ機 関連事業	パチスロ機 関連事業	補給機器 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	49,927	10,874	9,935	70,736	798	71,535	—	71,535
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	49,927	10,874	9,935	70,736	798	71,535	—	71,535
セグメント利益	11,637	1,551	380	13,569	269	13,839	△1,998	11,841

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、一般成形部品販売等の事業であります。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門に係る一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成22年6月11日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式の取得を決議し、第1四半期連結会計期間末までに実施いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が前連結会計年度末に比べ3,718百万円増加しております。